

発生の可能性が高いグローバルリスクの上位5位

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
1位	重要情報 インフラの故障	資産価格の崩壊	資産価格の崩壊	資産価格の崩壊	気象災害	極端な所得格差	極端な所得格差	所得格差
2位	先進国における 慢性疾患	中東の政情不安	中国の経済成長 鈍化(<6%)	中国の経済成長 鈍化(<6%)	水害	長期間にわたる 財政の不均衡	長期間にわたる 財政の不均衡	異常気象
3位	石油ショック	破綻国家&破綻 しつつある国家	慢性疾患	慢性疾患	不正行為	温室効果ガス 排出量の増大	温室効果ガス 排出量の増大	失業および 不完全雇用
4位	中国経済の ハードランディング	石油・ガス価格の 急騰	グローバル・ ガバナンスの欠如	財政危機	生物多様性の損失	サイバー攻撃	水供給危機	気候変動
5位	資産価格の崩壊	先進国における 慢性疾患	グローバル化の 抑制(新興諸国)	グローバル・ ガバナンスの欠如	気候変動による 災害	水供給危機	高齢化への対応 の失敗	サイバー攻撃

影響が大きいグローバルリスクの上位5位

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
1st	資産価格の崩壊	資産価格の崩壊	資産価格の崩壊	資産価格の崩壊	財政危機	大規模で システミックな 金融危機	大規模で システミックな 金融危機	財政危機
2nd	グローバル化の 抑制	グローバル化の 抑制(先進国)	グローバル化の 抑制(先進国)	グローバル化の 抑制(先進国)	気候変動による 災害	水供給危機	水供給危機	気候変動
3rd	国家間戦争・内戦	中国の経済成長 鈍化(<6%)	石油・ガス価格の 急騰	石油価格の急騰	地政学的紛争	食糧不足危機	長期間にわたる 財政の不均衡	水危機
4th	パンデミック (広域感染症)	石油・ガス価格の 急騰	慢性疾患	慢性疾患	資産価格の崩壊	長期間にわたる 財政の不均衡	大量破壊兵器の 拡大	失業および 不完全雇用
5th	石油ショック	パンデミック (広域感染症)	財政危機	財政危機	エネルギー価格の 急激な変動	エネルギー・ 農産物価格の 急激な変動	修復不可能な汚染	重要情報インフラ の故障

■ 経済 ■ 環境 ■ 地政学 ■ 社会 ■ テクノロジー

出典：世界経済フォーラム「グローバルリスク報告書」2007年版-2013年版

注：グローバルリスクは厳密には毎年と比較ができるものではない。なぜなら、それらの定義と一連のグローバルリスクは、報告書創刊から約10年を経過するにつれて、新たに浮上した課題を取り込みながら修正を施されているからである。たとえば、サイバー攻撃、所得格差そして失業は2012年版よりグローバルリスクとして抽出されている。水危機や所得格差については2014年版では環境あるいは社会リスクとして再分類された。